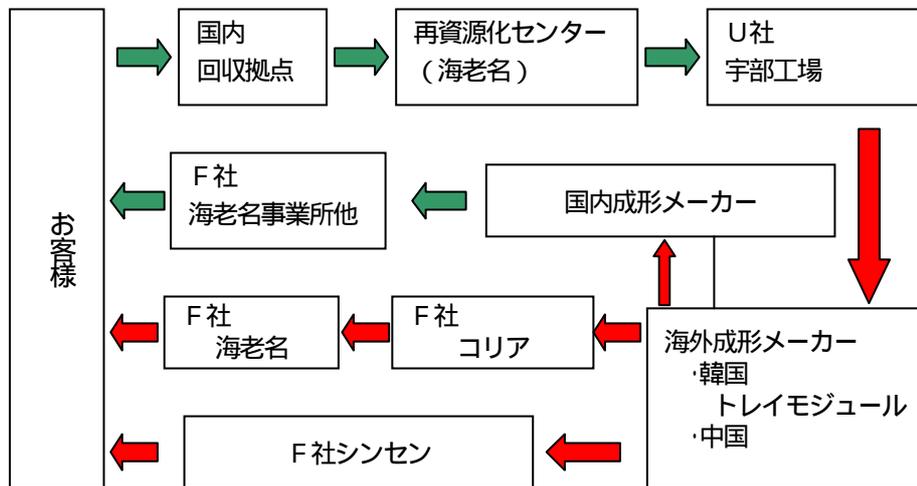


2.2 日系企業による国際的な資源循環の例

F社は、U社と共同開発したリサイクルプラスチック（ABS樹脂）で成形された部品を中国・シンセンの生産拠点において卓上型オフィスレーザープリンターに導入している。F社はこのリサイクルプラスチックを1998年に国内で外装カバー等に利用開始、2002年に韓国に輸出して韓国において成形後、日本国内に輸入していた。2004年には、リサイクルプラスチックを中国に輸出し、日系メーカーが成形し、完成した部品を卓上型オフィスレーザープリンターに導入することを開始した。

C社は、国内において複写機の給紙カセット（HIPS材）の回収、洗浄・異物除去等の前処理を行った後、タイの生産拠点に運び、タイの樹脂メーカーでリペレット化し、BJプリンタの電源ボックスの外装材樹脂（m-PPE材）にリサイクルする技術を確立した。

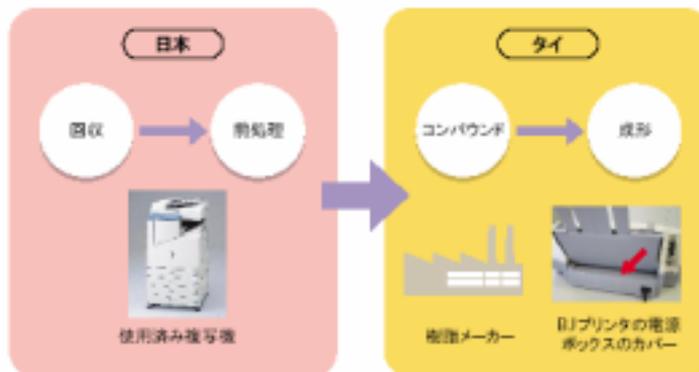
[ABS樹脂リサイクルの流れ]



出所：F社プレスリリース、2004年2月17日

図1 中国における再生プラスチック利用（F社）

プラスチックリサイクルの海外展開



出所：C社 環境報告書2002

図2 タイにおける再生プラスチックの利用（C社）